



株主通信

2024年度
[第46期]

● 第3四半期 [2024年4月1日~2024年12月31日]

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援とご高配を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ2024年度（2025年3月期）

第3四半期の「株主通信」をお届けし、

当期の状況についてご説明申し上げます。

2025年3月

取締役社長

羽田 雅一



第3四半期の概要

当第3四半期におけるわが国経済は、一部に弱めの動きがみられたものの、企業収益は改善傾向にあり、業況感は良好な水準を維持するもとの、景気は緩やかに回復しています。

情報サービス産業におきましては、顧客のデジタル変革（DX）に対する投資意欲は底堅く、製造業の情報化投資は堅調に推移すると見込まれております。

このような経営環境において、当社グループは、2026年度を最終年度とする6カ年の経営計画「経営Vision 2026 改訂版」のもと、主要顧客である製造業のビジネス環境の変化に、当社グループの強みを活かした製品・サービスで支援すべく、製造業のDX推進やグローバル展開等の経営課題解決に取り組むとともに、サステナビリティへの貢献にも取り組んでおります。

当第3四半期の業績につきましては、下記のとおり前年同期比増収・増益となり、受注高・売上高はともに過去最高を更新し、利益は7期連続で過去最高益を更新いたしました。

良好な第3四半期の業績を踏まえまして、2月7日に通期業績予想を売上高・利益ともに上方修正しております。通期連結業績予想につきましては、売上高20,700百万円（前回予想比200百万円増）、営業利益4,600百万円（前回予想比300百万円増）、経常利益4,600百万円（前回予想比300百万円増）、親会社株主に帰属する当期純利益3,350百万円（前回予想比450百万円増）となる見込みです。

2024年度（2025年3月期）の期末配当予想は16円増配の58円に修正し、年間配当金は100円となる予定です。

株主の皆様におかれましては、当社事業へのご理解とともに将来性にご期待いただき、引き続き長期的な視点でのご支援を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

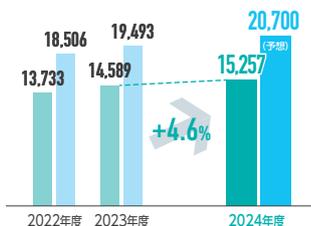
連結業績ハイライト

■ 第3四半期累計期間 ■ 通期（単位：百万円）

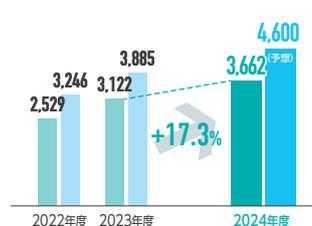
決算のポイント

- 受注高・売上高は、堅調な情報化投資のもとで、前年同期に比し増加（受注高：前年同期比10.1%増）
- mcframeライセンス売上高は、ライセンス販売が好調に推移し、過去最高を連続更新（前年同期比20.8%増）
- 利益は、プロジェクト採算性向上・ライセンス販売伸長等により、前年同期に比し増加

売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



従業員エンゲージメント向上の取り組み

～ B-EN-G開業25周年社内イベント開催 ～



1999年4月の開業から25周年を迎えたことを記念し、従業員エンゲージメント向上の取り組みの一つとして、昨年12月末にグループ全体で社内イベント「B-EN-G week」を開催しました。本イベントは、「創造性」と「一体感」をコンセプトに、

従業員有志が企画・運営しました。

「B-EN-G week」では、レクリエーションを通じた従業員同士の親睦企画、従業員をゲストに迎えたトーク番組の社内向け配信などが行われ、参加者同士の交流を深めました。

「B-EN-G week」最終日には、海外拠点の従業員と国境を越えた交流ができるメタバースイベント「Bメタ」を開催しました。創造性を競う従業員参加型プレゼンテーション大会や、従業員と社長の対談企画、海外拠点のバーチャルオフィスツアー、当社の黎明期を振り返る写真館など、アバターを通じて国内外の従業員が自由に交流を楽しめる場が提供されました。

今後も従業員エンゲージメント向上等の取り組みを通じて人的資本経営を推進し、企業価値向上に努めてまいります。

サステナビリティ活動を通じた社会貢献の推進

当社は、経営計画「経営Vision 2026 改訂版」において「サステナビリティへの貢献」を戦略の柱の一つと位置付け、能登半島地震の被災地支援やインドネシアの職業高校への管理会計講師派遣など、社会課題の解決に向けた活動を推進しています。

2024年度の新たな取り組みとして、国際ロボット競技会で世界大会出場権を4回獲得するなど、日本最多の実績を持つ中高生ロボコンチーム「SAKURA Tempesta(サクラテンペスタ)」を運営するNPO法人サクラテンペスタとスポンサー契約を締結しました。

昨年12月末には、同チームのメンバーが来社し、活動内容の紹介と今年度の実績報告を行いました。来年度は、サクラテンペスタと当社の共催イベント実施など、同団体との関係をより深めていく施策を検討する方針です。

当社は、このスポンサー活動を通じて、次世代のものづくりエンジニア育成に貢献し、「世の中に創造業を増やす」という当社のパーパス実現を目指します。今後も持続可能な社会の実現と日本のものづくりの発展に向けて、社会貢献活動に取り組んでまいります。



セグメント別事業概況

ソリューション事業

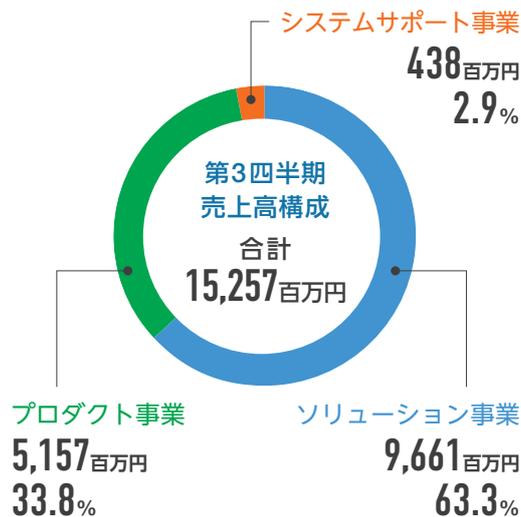
他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築等を主に行う事業です。顧客の課題解決に貢献する複合型ソリューションの提供を推進し、顧客ニーズを踏まえた積極的な提案活動に努めました。受注高および売上高につきましては、受注が好調であることから、受注高は9,984百万円（前年同期比7.5%増）、売上高は9,661百万円（前年同期比0.6%減）となりました。セグメント利益は、プロジェクトの採算性が向上したことにより、2,652百万円（前年同期比5.9%増）となりました。

プロダクト事業

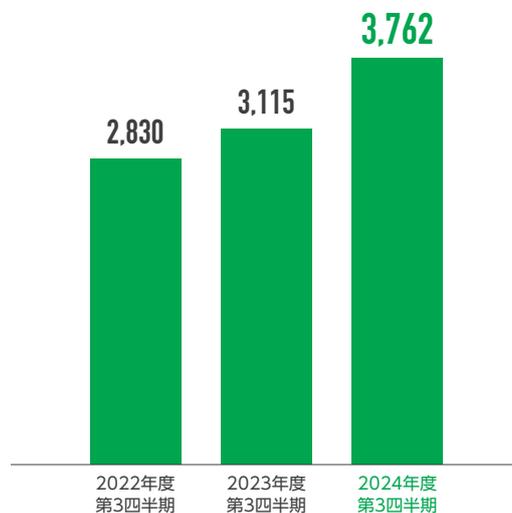
自社開発ERPパッケージ「mcfame」シリーズ製品をビジネスパートナーを通じて販売するとともに、同製品をベースとしたコンサルティング、システム構築等を行う事業です。引き続き、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化を図りライセンス販売に注力するとともに、継続的なブランド力の強化に取り組んだことにより、ライセンス販売は好調に推移いたしました。当セグメントの受注高は5,059百万円（前年同期比15.1%増）、売上高は5,157百万円（前年同期比12.4%増）、セグメント利益は2,023百万円（前年同期比38.6%増）となりました。

システムサポート事業

顧客に導入したシステムの運用・保守を主に、これらを通じた提案・追加開発等を行う事業であり、子会社のビジネスシステムサービス株式会社が展開しています。引き続き、顧客システムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は350百万円（前年同期比15.0%増）、売上高は438百万円（前年同期比54.6%増）、セグメント利益は386百万円（前年同期比1.8%減）となりました。



mcfameライセンス売上高 (単位: 百万円)



財務のポイント

総資産は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加、無形固定資産の増加、投資その他の資産の増加等により、前期末と比較して845百万円増加し、16,563百万円となりました。

負債は、賞与引当金の減少、未払法人税等の減少、前受金の増加等により、前期末と比較して688百万円減少し、4,079百万円となりました。

純資産は12,484百万円となり、自己資本比率は75.4%となりました。

	(単位: 百万円)	
	2024年3月末	2024年12月末
流動資産	12,583	12,815
固定資産	3,135	3,747
資産合計	15,718	16,563
流動負債	4,752	4,048
固定負債	15	31
負債合計	4,767	4,079
純資産	10,950	12,484
負債純資産合計	15,718	16,563

増配のご案内

2024年度(2025年3月期)の期末配当金は、通期業績見込み等を勘案し、配当予想の1株あたり42円から16円増配し、1株あたり58円に修正いたします。これにより2024年度の年間配当金は前期比22円増配の1株あたり100円となり、10期連続増配、過去最高となる見込みです。

1株あたり配当金

(単位: 円)



※ 2022年6月1日付で1対2の株式分割を行っており、2021年度以前の配当金につきましては、株式分割調整後の数値を記載しております。

会社概要 (2024年12月31日現在)

社名 ビジネスエンジニアリング株式会社
事業開始 1999年4月(設立 1980年12月)
資本金 697,600,000円
従業員数 連結721名 単体555名(2024年9月30日現在)
業務内容 企業経営および情報通信システムのコンサルティング
コンピュータネットワークの企画および開発
情報通信システムの企画、開発、販売およびリース
本社 東京都千代田区大手町1丁目8番1号
KDDI大手町ビル
関西支店 大阪府大阪市淀川区西中島6丁目1番1号
新大阪プライムタワー4階
中部営業所 愛知県名古屋市中村区名駅3丁目26番8号
KDX名古屋駅前ビル13階
グループ会社 ビジネスシステムサービス株式会社
Business Engineering America, Inc.
畢恩古商務信息系統工程(上海)有限公司
Toyo Business Engineering (Thailand) Co., Ltd.
PT. Toyo Business Engineering Indonesia
Toyo Business Engineering Singapore Pte. Ltd.

役員 (2024年12月31日現在)

代表取締役 取締役社長 羽田 雅一
代表取締役 専務取締役 別納 成明
常務取締役 中野 敦士
常務取締役 佐藤 雄祐
取締役 入交 俊行
取締役 宮澤 由美子
社外取締役 清水 弘
社外取締役 北村 正仁
社外取締役 監査等委員 志水 直樹
社外取締役 監査等委員 三好 貴子
取締役 常勤監査等委員 大塚 博文

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会・期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所[郵便物送付先・電話照会先]

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

TEL.0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店

および全国各支店で行っております。

単元株式数

100株

公告の方法

電子公告

<https://www.b-en-g.co.jp/>

コーポレートサイトのご案内

<https://www.b-en-g.co.jp/>

ビジネスエンジニアリング 🔍

コーポレートサイトでは、個人投資家の皆さまに当社をよりご理解いただくための情報をご提供しておりますので、是非ご覧ください。

【サステナビリティ】

<https://www.b-en-g.co.jp/jp/sustainability/>

当社グループのマテリアリティやサステナビリティへの取り組みのほか、ESGデータ集等の資料、取得している外部評価等がご覧いただけます。



【IR情報】

<https://www.b-en-g.co.jp/jp/ir/>

業績ハイライトや過去のIR資料などをご覧いただけます。



ビジネスエンジニアリング株式会社

本社：〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI 大手町ビル
TEL.03-3510-1600 / FAX.03-3510-1624